



とやま親学び 通信

令和2年3月12日発行
富山県教育委員会 生涯学習・文化財室

親学び推進リーダーのみなさんのご協力によって、今年度の「とやま親学び推進事業」を円滑に実施することができました。お忙しい中、活動していただいたことに感謝申し上げます。来年度も、どうぞよろしくお願い致します。

今年度最後の「親学び通信」は、リーダーのみなさんからの情報に加え、今年度の「親学び」の実施状況についてお伝えします。



1 リーダーのみなさんからの情報

【講座の内容について】

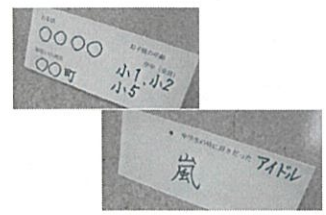
- ・ 事前に保護者にアンケートをとり、その中からテーマを選んだ。
- ・ 「子育てで気になること」を8つの選択肢から選んでもらい、テーマを決めてグループワークを行っている。
- ・ 生徒に「親から言われて嫌だった言葉」と「どうしたらやる気が出るか」をアンケートし、その結果をもとにグループワークを行った。
- ・ 生徒に「スマホの使い方やトラブル」についてのアンケートをとり、その結果をもとにグループワークを行った。
- ・ 小3の保護者の講座で、初期プログラムの「これって反抗期？」を使った。言葉づかい、宿題の取り組み方、テレビやゲームのことなど、いろいろな話題が出た。
- ・ 「あなたの子供が興味をもっていることは何ですか?」と問いかけ、グループワークを行った。
- ・ 「わが子に伝えたいこと、伝えなければならないこと」というテーマで講座を行った。まず、自身が子供のころに言われたことを思いだし付箋に書き、全員で共有した。その後、テーマに沿ってグループワークを進めた。
- ・ 他県のプログラムを参考にして自作した。

下記のオリジナルのプログラムやワークシートは、リーダーさんから提供いただいています。資料ご希望の方はご連絡ください。

「これってどう? (スマホやタブレットの使い方)」「友達から責められているアヤノちゃん」「井戸端会議ワークシート」「みんなどうしてる? 子供のしつけ (※設問オリジナル)」

【工夫したこと】

- ・ 講座の内容を事前に伝えたことで、昨年より多くの方に参加いただけた。
- ・ 子供を連れての参加者のために、保育園のスタッフに子供の対応をお願いした。
- ・ 就学時健診での親学びでは、第二子、第三子の保護者から経験や情報を聞くことができるよう、第一子の保護者が同じグループに偏らないように配慮している。
- ・ 小学校では、上学年と下学年に分けてグループをつくった。年齢の近い子供を持つ親同士が集まることで、活発な意見交換となった。
- ・ 自己紹介カードをネームプレートにした。
- ・ 毎年担当させていただいているので、新たなアイズプレイクを取り入れたり、意見を付箋に書くことを取り入れたりしている。
- ・ グループワークの前に、「正解はありません」と伝えたことで、男女ともに積極的に話し合う姿が見られた。
- ・ 「大きなあくび大丈夫?」を使った講座では、教頭先生に、自身の子供の寝かしつけ方を話していただいた。
- ・ 飴とお菓子を配り、飴の種類で自己紹介の順やグループ内の役割などを決めた。
- ・ 発表をお願いするときに、グループの中の「イケメンさんお願いします」と伝えると、なごやかな雰囲気になった。



↑
参加者に書き込んでもらう
ネームプレート

(中略)

親学び講座

1 自己紹介をしましょう!

好きな動物	理由は…?	嫌いな動物	理由は…?
①		1つだけ	①
②			②
③			③

2 これってどう? スマホやタブレットの使い方 (○×△をつけてください)



- わずかる赤ちゃんにスマホを考慮して静かにさせる
- 夏休みにスマホを考慮して留守番させ、仕事に行く
- つまらない講演会なので、スマホで動画をみる
- 食事中にスマホに触る
- スマホの知育アプリで脳トレをする子ども
- 公園で子供を自由に遊ばせ、親はスマホを触り続ける
- 種類が分からないところをスマホで調べる

3 こんな時、あなたならどうする?

4 子育ての究極の目的は?



親学びエピソード

娘のアヤノ(仮名、小学校3年生)は、親から見ると明るく優しい子ですが、気は小さい方で、人前で自分の気持ちをはっきりと言いくらいにくいところが少し気になります。でも、毎日元気に学校へ通い、友達とも仲良くしている様子だったので、本人なりに楽しくやっているのだろうと安心していました。

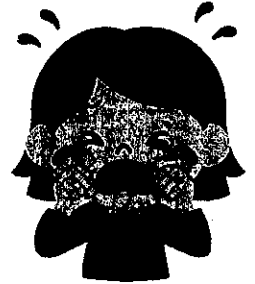
ところが、ある日アヤノが、「お母さん、もう学校へ行きたくない…」と泣いて帰ってきました。どうしたのか理由を聞いても話したがりがありません。

ようやく聞き出したところ、先日の休み時間に、体育館でみんなでドッジボールをしていたら、クラスメイトのユナちゃんの頭に自分の投げたボールが当たってしまったのだそうです。怪我もなく、すぐにアヤノはユナちゃんに向かって謝ったそうなのですが、ユナちゃんは怒った様子で痛そうにしていると、みんなが集まってきて、アヤノに向かって「謝りなよ!」と口々に何度も大きな声で責めたそうです。

アヤノはそのまま何も言えなくなってしまい、休み時間が終わってしまいました。その後ユナちゃんと気まそくなり、みんなからは疎らなくてひどいと言われたままなので、遊びにも参加しづらくなってしまったのだそうです。

もう一度ユナちゃんに謝ってみては?とアドバイスしましたが、アヤノは「ちゃんとすぐ謝ったのにどうして…」と納得がいかない様子です。

親として、こんな時、なんと行ってやればよいでしょうか?



子育て井戸端会議ワークシート

☆子育てで気になること☆

* 当てはまるものに○を付けてください。(複数可)

A 食事について	B 言葉について
C 兄弟(姉妹)ケンカについて	D テレビ・ゲームについて
E 生活習慣について	F 学習保育について
G 小学校入学準備について	H その他

☆この中であなたの気になることを具体的に書いてください☆

☆MAMO☆

みんなどうしてる? 子供のしつけ

麻子さんは、ママ友の由美さんと子供たちを連れてファミレスでランチ。食べている時は、静かだった子供たちですが、食べ終わると騒ぎ始めました。麻子さんは「お店の人に叱られるわよ」と注意しますが、子供たちは知らん顔。由美さんは、「いいじゃない、目の届く範囲でいるから大丈夫よ。」と、スマホを触りながら、あまり気にしていない様子です。

※設問のみ、オリジナル

- ① このエピソードのように、お子さんが、レストラン・スーパーマーケット・電車の中など公共の場で、似たような経験はありませんか? または、そんな光景を見たことはありませんか?

はい
 いいえ
- ② こんな時、あなただったら子供にどんな声掛けをしますか?
- ③ この対応を、どう思いますか?